

1. 地域情報

圏域	(主な町名) 幸町1丁目、幸町2丁目の一部、幸町3丁目、二の森の一部				
	(連合町内会) 幸町学区町内会連合会 (学区) 幸町小学校, 幸町中学校 (地域包括支援センター) 小松島地域包括支援センター				
人口※1	2,920人	高齢者数 ※1	867人	高齢化率※1	29.69%
世帯数※1	1,713世帯	未就学児数※1	99人		
地区の概況	<ul style="list-style-type: none"> ・JR仙台駅北側の住宅地区。 ・公団や市営、県営アパートもあり旧アパートが数多く低所得世帯も少なくない。 ・昔からの住民の他、アパート等の単身世帯も少なくない。 				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	幸町中央町内会, 千刈田町内会, 幸町西町内会, 幸町第一町内会, 幸町内会, 幸町公団住宅自治会, 幸町三丁目町内会, 二の森西町内会, 朝日プラザ幸町町内会			
	地域活動団体 (町内会除く)	幸町地区町内会連合会, 幸町地区民生委員児童委員協議会, 幸町地区募金会, 幸町赤十字奉仕団			
	NPO				
	ボランティア団体				
	高齢者関係施設等	「心彩村」～つむぎ～(デイサービス)			
	障がい者関係施設等	こうでねいとくらぶ「幸町ハウス」 デイサービス日だまり、仙台つどいの家			
	子供関係施設等	小田原保育園, 幸町児童館, ぽっかぽっか彩保育園, がらくら放課後クラブ			
	教育機関	幸町小学校, 幸町中学校			
市民利用施設	幸町市民センター				
その他					

※1 令和6年4月1日現在の「仙台市町名別年齢(各歳)別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域(街区符号・住居番号)による累計ではありません。

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和 平成 47年 5月 1日			
社協会員数	2,002名(普通会員数 1,809名、特別賛助会員数 193名) ※令和5年度実績			
会 長	氏 名	飯 塚 定 男	就任年月日	平成19年4月1日
	兼務の状況	地区募金会会長, 町内会長		
組織体制	(役員体制) 会長1名, 副会長1名, 監事2名, 会計幹事1名, 推進員1名, 理事6名			
	(活動者)	23名	(活動者呼称)	福祉委員
主な活動拠点	有→	(名 称)		
	無→	(主な活動場所) 幸町市民センター		

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	9町内会6ブロックに分け、活動の協力者として町内会、民生委員を福祉委員とした。		
会議・研修	小地域福祉ネットワーク推進会議（年2回）、リーダー会議（年4回）		
活動の概要 〔令和5年度実績〕	安否確認活動	生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯（実数） 1,420世帯	実施対象世帯（実数）※2 133世帯	実施回数 0回
	（内訳） 一人暮らし高齢者世帯 583世帯 日中独居高齢者世帯 120世帯 高齢夫婦世帯 404世帯 その他の高齢者がいる世帯 176世帯 障がい者のいる世帯 83世帯 子供のいる世帯 12世帯 その他の世帯 42世帯	（内訳） 一人暮らし高齢者世帯 65世帯 日中独居高齢者世帯 13世帯 高齢夫婦世帯 27世帯 その他の高齢者がいる世帯 4世帯 障がい者のいる世帯 7世帯 子供のいる世帯 0世帯 その他の世帯 17世帯	延べ参加数 0人 （対象） <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て中の親（子） <input type="checkbox"/> 子ども <input type="checkbox"/> その他
	実施回数（延べ） 10,086回 主な支援内容 〔訪問、電話、外からの見守り、その他〕	実施回数（延べ） 315回 主な支援内容 〔草取り、除雪、買い物、ゴミ出し、外出・通院付添い・送迎、会食会の送迎、菓の受取り、話し相手（※話し相手は、基本的には30分以上の会話）〕	※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（10月～3月）における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	社協だより	発行頻度	年1回
	発行部数・配布方法等	9町内へ配布（全戸配布）		
	その他の広報	広報紙「特別賛助会員のお願い」		

5. その他の活動

活動・取組みの概要	災害時の「支援名簿づくり」関係先への名前開示の承諾書保障、今度の資料作りの基礎としたい。
-----------	--

6. 地区社協活動の特徴

<p>民生委員と一体であり、サロン食事会、地域復興サロン、認知症啓発運動、介護予防体操、地域全体の親睦を図るカラオケ設置によるコミュニケーションづくり等で活動中。</p> <p>また、4町内でのミニサロン開催を地区社協として応援。</p>
